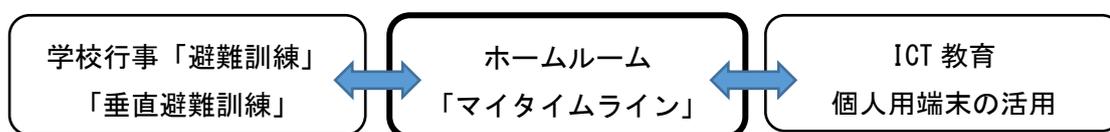


令和3年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業指導案

日 時 10月20日(水)  
 時 間 6限 (14:30~15:20)  
 対 象 1年1組(29名)  
 授業者 防災主任  
 講 師 熊本地方気象台

- 1 題材名 「マイタイムラインをつくろう」
- 2 カリキュラム・マネジメントの視点



- 3 時 間 1時間
- 4 ねらい 熊本の災害の特徴を熊本地方気象台の職員の方に解説していただき、熊本の災害の特徴を知るとともに、自宅周辺の災害について理解し、災害発生を予測して避難ができるようにマイタイムラインを作成する。
- 5 準備物 プレゼンスライド資料 個人用端末
- 6 展 開

	学習内容	○教師の支援 ◎指導のポイント
導入 5分	1 過去の災害を振り返る。 (1) 熊本の過去の災害を振り返る。 (2) 今年発生した災害を振り返る。  2 ねらいを説明する。 「逃げ遅れによる被害をゼロにしたい」	○スライドで画像をPJで提示 過去の災害を振り返ることで、地震よりも水害の回数が多く、近年では毎年どこかの地域で災害が発生していることを知る。 ○令和2年7月豪雨で逃げ遅れた施設利用者が多数亡くなったことを振り返り、逃げ遅れる原因について説明する。 ○マイタイムラインの紹介
展開 40分	3 熊本県の雨・災害の特徴を知る。 熊本地方気象台の山元様より説明  4 マイタイムラインの作成 (1) 個人端末で資料を開き、自宅周辺のハザードマップを確認し、家族構成、避難先をタ	◎降雨の季節、時間帯について ◎災害発生の特徴について ◎「キキクル」の紹介 ○入力方法をPJで提示しながら作業を進める 個人用端末でclassroomを利用し、県のマ

<p>展開 40 分</p>	<p>タイムラインに入力する。</p> <p>(2) 警戒レベルに応じた各自の行動を記入する。</p> <p>5 作成したタイムラインを PDF で提出・表示し、グループで見せ合いながら自分の行動について説明する。</p>	<p>イタイムライン作成ページを開いて作業をする際、教師用端末のページをPJに写しながら一緒に作業を進める。</p> <p>◎避難の方法（水平避難、垂直避難）や避難時の服装、予防的避難について説明する。</p> <p>○行動の例示をスライドで紹介し、取り組めそうなものを選択して入力させる。</p> <p>◎避難のスイッチを決めた理由を説明できるように考えさせる。</p> <p>○作業中のものをPDFにして提出させる。</p> <p>○生徒同士の発表では、大きな声にならないよう注意する。</p> <p>○机間巡視しながら、説明・補足をする。 全体発表の生徒を選ぶ</p> <p>◎自分の行動と異なる点や疑問に思った点を質問したり、説明したりするよう促す。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 数名にタイムライン作成での工夫や人と違う部分についての気づきを発表してもらおう。</p> <p>7 まとめ 今回作成したタイムラインを基に、家族と防災について話す機会を作り、家族でタイムラインの完成を目指す。</p>	<p>○立地、家族構成など条件が異なると行動が異なることを説明する。</p> <p>○生徒の発表内容の「気づき」に焦点を当て、十分に賞賛する。</p> <p>◎未記入の部分は家族と話し合いながら埋め、完成したら提出するよう指示する。</p>